

令和4年10月26日
相模原市発表資料

米陸軍第38防空砲兵旅団司令部への訪問について

本日、相模総合補給廠に駐留している第38防空砲兵旅団司令部を訪問し、概要、任務等について説明を受けましたので、お知らせします。

日時 令和4年10月26日(水) 午前10時～午前11時
場所 在日米陸軍相模総合補給廠 第38防空砲兵旅団司令部棟
参加者 本村 賢太郎 市長(相模原市米軍基地返還促進等市民協議会会長)
竹田 幹夫 市自治会連合会会長(同協議会副会長)
川崎 晴彦 連合神奈川相模原地域連合議長(同協議会副会長)
折笠 正治 相模原市議会 基地対策特別委員会委員長
石川 達 同副委員長
隠田副市長、市長公室長、基地対策・中山間地域対策担当部長、
基地対策課長他
同行者 南関東防衛局長、同局企画部長、同企画部次長 同地方調整課長他
説明者 第38防空砲兵旅団司令部司令官 ニール J. レープ大佐 他

米側からの説明及び質疑応答を通じて、今回把握した同司令部の概要及び任務等、相模原市からの要請並びに市長コメントは、次のとおりです。

【第38防空砲兵旅団司令部の概要及び任務等】

- 第38防空砲兵旅団は、各地に点在する施設と調整しながら、主にミサイルから日本及びその周辺領域を防衛することを任務とする。
- 第38防空砲兵旅団司令部は、沖縄や京都、青森、グアム等の隷下部隊によるレーダー監視や迎撃システムを指揮調整する。
- 第38防空砲兵旅団の駐留により、相模総合補給廠の役割、任務等の基地機能は変わっていない。
- 相模総合補給廠に駐留しているのは、司令部部隊であり、現時点で日本に追加で装備を導入することはない、人員の増員も予定していない。
- 当該司令部は、キャンプ座間に余席がないことから相模総合補給廠の既存の施設を使用している。既存のインフラを使用することにより、当該部隊の配備をこの場所にすることが現時点では合理的であると考えている。

- 当該司令部は、平成30年の駐留開始以降、周辺住民との絆と関係構築に真摯に取り組んできた。今後も公園の清掃や地域イベントへの参加等の地域貢献活動を通じ、さらに良好な関係を構築していきたいと考えている。

【相模原市からの要請】

- 今後とも市民の不安を払拭できるよう、適時に説明の機会を設け、市と透明性のある関係を構築すること。
- 相模総合補給廠の機能強化に繋がる運用変更は行わないこと。なお、駐留部隊の変更や新たな施設整備など、補給廠の運用に変更がある場合は、事前に市と協議を行うこと。
- 相模総合補給廠周辺の住民に不安を与えるような訓練や演習等を行わないこと。また、騒音等により生活環境への影響を及ぼさないこと。

【市長コメント】

別紙のとおり

問合せ先 基地対策課 電話 042-769-8207(直通)

市長コメント

- 本日、米陸軍第38防空砲兵旅団司令部の駐留について、相模総合補給廠において、同司令部司令官から直接、任務や運用等について説明を受けました。
- 米軍の情報保全上の理由により、質問に対して明確な答えが得られなかった場面はありましたが、地元理解してもらいたいとの誠意を感じることができました。こうした説明の機会が設けられたことは、一定の評価をしたいと思います。
- 今後とも市に対し、適時に情報提供をし、市と透明性を確保した関係性を築いていくことを求めました。
今後とも得られた情報があれば、お知らせしてまいります。

令和4年10月26日

相模原市長 本村賢太郎